

維持費が変わる10の要因 ・ ・ ・ 選ぶ車で、いくら変わるのか

効く順に並べました。上の6つは「車の選び方」で決まるもの。買ってから節約するより、選ぶ段階で決めるほうが効きます。

車の選び方で決まる 使い方で決まる 時間で変わる

#	要因 何を選ぶか	どこに効くか 影響する費目	どのくらい変わるか 差の大きさ	選ぶときのコツ	効き方
1	排気量 車の選び方	自動車税（毎年）	軽と2,000cc級で年2万円以上の差。10年で20万円以上	同じ大きさでも排気量の小さい設定があるか見る	大きい
2	車両重量 車の選び方	重量税・燃料代・タイヤ	重い車は税も燃料も上がる。二重に効く	同クラスなら軽いほうを。装備を盛るほど重くなる	大きい
3	タイヤのサイズ 車の選び方	消耗品（数年ごと）	4本交換で数万円の差。大きく扁平なほど高い	上位グレードは大径のことが多い。交換費用を先に聞く	大きい
4	駆動方式 車の選び方	燃料代・タイヤ・重量税	四駆は重くなり燃費が落ち、タイヤは4本そろえる必要がある	雪が降らない地域で街乗りなら2WDで十分	中くらい
5	動かし方 車の選び方	燃料代・電池関係	ハイオク指定か、軽油か、電気か。距離を走る人ほど差が開く	第2講のチャートで自分に合う方式を出しておく	大きい
6	装備の複雑さ 車の選び方	修理代・故障の可能性	電動の機構が多いほど、壊れたときの修理代が上がる	要らない装備は付けない。第6講の「要らない箱」	中くらい
7	部品の入手性 車の選び方	修理代・整備の工賃	台数の多い車ほど部品が安く、扱える工場も多い	よく売れている車種は、この点で有利	中くらい
8	車種の区分 車の選び方	任意保険料	修理費の水準などで区分が決まり、保険料に反映される	契約前に見積もりを取る。買う前に金額が分かる	中くらい
9	使い方 使い方	燃料代・消耗品・修理代	走る距離、道の状態、運転のしかた。同じ車でも人で変わる	急な加減速を減らすだけで、燃料もタイヤも長持ちする	大きい
10	年式（経過年数） 時間	税・修理代	一定の年数（おおむね13年・18年）を超えると税が上がる。故障も増える	古い車は車両価格の負担がゼロに近い。総額で判断（第21講）	中くらい

 いちばん効くのは「1段階下げる」

車のサイズを1段階下げると、1・2・3・4が同時に下がります。

- 排気量が下がる → 自動車税が下がる
- 軽くなる → 重量税と燃料代が下がる
- タイヤが小さくなる → 交換費用が下がる

乗り始めてから節約するより、選ぶ段階のこの判断のほうが、はるかに大きく効きます。

 買う前に分かるものから固める

自動車税・重量税・自賠責は買う前に確定します。任意保険も見積もりで分かる。タイヤ4本の値段も販売店で聞けます。分かるものを先に固めると、不安の大半は消えます。

 9番は自分でコントロールできる

同じ車でも、使い方で維持費は変わります。急な加減速を減らす、適正な空気圧を保つ、警告灯を放置しない。これらは費用ゼロでできて、確実に効きます。